

対象国の条件：都市廃棄物処理技術のため都市部人口10万人以下の島嶼国は対象外とする。

研修コース番号：(A) J1804067/ (B) J1804276

案件番号：(A) 1884813/ (B) 1884942

主分野課題：環境管理/一般廃棄物

副分野課題：

使用言語：(A) 英語/ (B) 英語

案件概要

大阪市等関西の廃棄物に関する法制度や計画の概略、途上国での改善事例などを通じて、廃棄物処理の一連のプロセス（計画→収集→中間処理→最終処分）に関する制度と技術的ノウハウを学ぶ。また、ごみ減量化に向けて重要となる行政・企業・住民の連携による啓発・環境教育活動について、地域の取り組みを視察する。自治体による実際の取り組みを通じた学びにより、自国の課題解決に向けて、研修員によって具体的対策が立案されることを目指す。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 本邦研修で策定されたアクションプランに基づき、研修員の自国において実践的で効果的な廃棄物管理計画が提案・検討される。</p> <p>【成果】 1. 講師や研修員間の意見交換を通じて都市廃棄物処理の課題を抽出し、その解決に関するヒントを得る。 2. 大阪市を主とした日本の都市における廃棄物処理の現状を理解し、都市廃棄物対策の知見を得る。 3. 収集運搬、中間処理（焼却、圧縮、分別、リサイクル）、最終処分について学ぶ。 4. 有害廃棄物（医療廃棄物を含む）の発生と適正処理技術について学ぶ。 5. 市民の役割、地方自治体と市民の連携の重要性について説明できるようになる。 6. 参加国における都市廃棄物課題や解決策の提案として、アクションプランを策定する。</p>	<p>【対象組織】 地方自治体、地方自治体支援に携わる中央省庁、廃棄物処理サービスを提供する民間企業等</p> <p>【対象人材】 1. 対象組織において、都市廃棄物処理に関する実務を担当する技術者あるいは行政担当者（研修終了後も廃棄物処理事業に携わる者） 2. 廃棄物処理分野における3年以上の実務経験を有する者 3. 十分な英語力を有する者</p>	
<p>内容</p> <p>1. ジョブレポートの作成、発表、途上国における廃棄物管理の現状と課題：持続可能な社会のための廃棄物管理、途上国における環境衛生、廃棄物の総合的な管理、JICAによる都市廃棄物管理、ごみ量・ごみ質調査、廃棄物フロー及び廃棄物管理計画 2. 日本における廃棄物管理の現状と課題：日本における廃棄物管理、大阪市等の一般廃棄物処理基本計画、廃棄物収集と運搬、市民のための環境教育、産業廃棄物処分概要、研究機関における廃棄物処理研究 3. 廃棄物の収集と運搬：タイム&モーション・スタディ（ごみ収集車の効率的運用手法）、運搬施設 4. 中間処理：大阪市等の廃棄物減量政策とリサイクル、コンポストとリサイクル、中間処理（焼却）・最終処分：最終処分場の選定と計画、最終処分地の改善・運転・維持、衛生立技術（福岡方式） 5. 特別な管理を要する廃棄物：有害廃棄物処理、医療廃棄物処理、特別管理産業廃棄物（感染性・建設廃棄物） 6. 市民との協働：官民連携（廃棄物減量・美化）、産業界によるリサイクルと啓発活動 7. アクションプラン作成・発表・討論、帰国後の所属組織における共有と検討、実施状況に関する最終報告書の作成とJICAへの提出</p>	<p>本邦研修期間</p> <p>(A) 2018/5/15～2018/7/11 (B) 2019/1/7～2019/3/2</p>	
	<p>担当課題部</p> <p>地球環境部</p>	
	<p>所管国内機関</p> <p>(A) JICA関西（業務一） (B) JICA関西（業務一）</p>	
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p> <p>2017～2019</p>	
<p>主要協力機関</p>	<p>(A) 公益財団法人 地球環境センター(GEC)/ (B) 公益財団法人 ひょうご環境創造協会</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>		